

# 兵庫県立兵庫高等学校 創造科学科

A Course for Creating the World of the Future

## 文部科学省

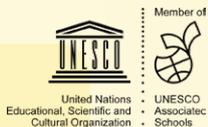
地域との協働による  
高等学校教育改革推進事業  
(グローバル型) 指定校

スーパーグローバル  
ハイスクール (SGH)  
ネットワーク参加校

## 兵庫県教育委員会

STEAM教育実践  
モデル校事業指定校

## UNESCO



ユネスコスクール  
UNESCO Associated School





# 文理の枠を超えた学びを通じて、複雑で正解のない問題に向き合い、その解決に主体的に挑戦しよう！

## 創造科学科の目指す「未来の創造者」

現代社会には道筋の見えない課題が山積しています。人口減少、地場産業の衰退、多文化共生などの地域課題。超低出生率、増え続ける公的債務、女性の社会的地位の低さ、長時間労働などの国内問題。地球規模の環境問題、感染症の拡大、資源・エネルギー問題、紛争の頻発などの地球規模の問題。人類は幅広く、多くの課題に直面しています。

創造科学科では、文理の枠を超えて社会科学と自然科学を主体的に学び、地域、国家、国際社会、サイバー空間で直面しているさまざまな課題に向き合い、人類の最前線で要石となる「未来の創造者」を育成します。



## 「未来の創造者」に必要な力

- **社会創造力**  
社会に貢献する志、信頼関係を構築する力や企画力・行動力
- **科学的思考力**  
最先端の科学について探究し、論理的に物事を分析する思考力
- **複眼的思考力**  
国際的な視野と感覚を持ち、さまざまな角度から柔軟に考える力
- **自律的活動力**  
何事にも積極的に取り組み、自己のキャリアを設計していく活動力

## 全国に発信する先進的な教育プログラム

令和2年度、文部科学省から「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）※1」「スーパーグローバルハイスクール（SGH）ネットワーク参加校※2」、兵庫県教育委員会から「STEAM教育※3実践モデル校事業」に指定されました。また、SDGs（持続可能な開発目標）の実現を目指すユネスコスクール※4として独自の教育プログラムを行います。

社会の諸相で起きる「正解のない問題」について、さまざまな立場の人と協働したり、最先端技術を用いて探究学習を実施します。行政機関、大学、企業等とコンソーシアムを形成して、外部講師による授業や課題解決型学習を行います。また、ビッグデータ活用やICT、IoTを駆使した課題研究に取り組み、国内・海外で研修を実施します。

- ※1 行政や大学、企業等との協働によるコンソーシアムを構築し、地域課題の解決等の探究的な学びを実現する事業
- ※2 社会課題に対する関心と深い教養、国際的素養を身に付け、将来国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を図る「SGH 事業」（本校は平成 27 年度から令和元年度まで指定）の成果をふまえ、継続的発展的に取り組む高等学校等を中心としたネットワーク
- ※3 科学 (Science) ・技術 (Technology) ・工学 (Engineering) ・リベラルアーツ (Arts) ・数学 (Math) の頭文字を合わせた造語で、社会のイノベーションを担い、創造力の基礎を育成することを旨とする文理融合型教育
- ※4 「持続可能な開発のための教育 (ESD)」の推進拠点

- 創造科学科のオリジナル教科「創造」で、他校では学ぶことができない特別な経験ができます
- 国内外の現場をフィールドとする社会科学分野の研究と、最先端の自然科学分野の研究を行い、文理両方の進路に対応します
- 大学の研究者や企業のエンジニアなど、最前線で活躍する大人と協働し、課題解決のための実践力を育成します
- デジタルツールを積極的に活用し、情報分野や先端技術の活用スキルを育成します
- 留学生との交流や海外研修で英語を積極的に活用したり、英語による研究発表を行うなど質の高い英語運用能力を育成します
- 研究を国内外で発表し、同じ志をもつ仲間とのつながりをつくることができます



未来創造シンポジウム (宇宙飛行士とのパネルディスカッション)



長田区高校生鉄人化まつり (鉄人モニュメントの下でのパフォーマンス)



BRIDGE Across Asia Conference (アジア5か国での学び合い)





# 創造科学科で学ぶ学校設定教科「創造」及び専門教科「理数」

創造科学科オリジナル教科「創造」や専門教科「理数」での学びを融合させ、未来の創造者を目指そう！

## 1年生で学習する科目／特色のある学び

### 理数探究



大学院生との共同研究

基本的な研究手法やデータの扱い方を実践的に学ぶとともに、自然科学の課題に目を向け、大学院生のサポートを受けてグループ研究を行います。実験実習・プレゼンテーションを重視し、研究内容を日本語、英語を用いて発表を行います。

#### 連携機関

神戸大学大学院人間発達環境学研究科

### 創造基礎A



元外務事務次官数中三十二氏との議論

「ローカル・ナショナル・グローバル」な社会問題を考察します。最前線で活躍する専門家から講義を受けます。また、ディスカッションやワークショップの機会を多く設けます。

#### 連携機関

財務省・兵庫県・神戸市・WHO(世界保健機関)等

### 創造基礎B



大丸須磨店での実践活動(マイクロライブラリー)

地域の社会問題に目を向け、地元企業や行政のサポートを受けてグループ研究を行います。フィールドワーク・プレゼンテーション・実践活動を重視。実践内容を日本語と英語を用いて発表を行います。

#### 連携機関

神戸市役所・長田区役所等

### 英語を活用した学び



外国人留学生との交流

英語による資料読解、プレゼンテーション、留学生とのワークショップなど、総合的な英語運用能力を高めながら、国際社会に貢献しようとする姿勢を養います。

#### 連携機関

大阪大学国際教育交流センター・兵庫教育大学国際交流チーム

## 2・3年生で学習する科目

### 創造応用I・II (自然科学分野)



磁性流体の合成研究

社会問題に目を向けながら科学技術を活用し、自分たちで自然科学、工学技術のテーマを設定し、大学教授のサポートを受けながらグループ研究を進めます。ポスターやスライドを用いたプレゼンテーションを行い、最終的には研究内容を論文にまとめます。

#### 連携機関

大阪大学大学院理学研究科・工学研究科等

### 創造応用I・II (社会科学分野)



駒ヶ林×アーティストプロジェクト

地域の課題をもとに世界で起こっている社会問題へと目を向け、大学教授や大学院生のサポートを受けて個人研究を行います。英語によるプレゼンテーションを行い、最終的には研究内容を論文にまとめます。

#### 連携機関

大阪大学大学院国際公共政策研究科等

## ICTを活用した学び



大学院生によるオンライン実験指導



神戸高校との交流発表会

創造科学科では個人用PCを活用して、対面とオンラインのハイブリッドで校内外での活動の幅を広げています。

#### 個人用PCを授業内で活用

コラボレーション・プラットフォームを用いた発表ポスター、スライドの協同作成。大学院生によるオンラインでの実験、観察指導。オンライン研究発表会。

#### 実践例

- ICTツールを用いた国内外の高校生と交流発表
- Web会議ツールを用いた他校との交流研究発表会
- 発表動画をオンラインで共有した学会発表

# 創造科学科 (理数に関する学科) の教育課程 (令和4年度入学生 (7期生))

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1学年	現代の国語	言語文化	歴史総合	体育	保健	音美書 I	英語 COM I	論理表現 I	情報 I	理数数学 I	理数化学	理数物理	理数生物	理数探究	創造基礎	LHR	※1 総合的な																	
2学年	論理国語	古典探究	地理総合	体育	保健	英語 COM II	論理表現 II	家庭基礎	理数数学 II	理数特論	理数化学	理数物・生物	理数生・物	創造応用 I	DS特論	LHR	※2																	
文系	論理国語	古典探究	地理総合	世史探究 日史探究 地理探究	体育	保健	英語 COM II	論理表現 II	家庭基礎	理数数学 II	理数特論	理数化学	理数物理	理数生物	創造応用 I	DS特論	LHR	※1	※2															
3学年	論理国語	古典探究	地理探究	国語研究	世史探究 日史探究 地理探究	地理探究 公民探究	体育	英語 COM III	論理表現 III	理数数学 II	理数特論	理数化学	理数物理 理数生物	創造応用 II	LHR																			

※1 特定の期間で実施 ※2 DS:データサイエンス 次年度以降の教育課程は実施予定であり、今後変更されることがあります

創造科学科では、揺るぎない学力を養うために主要教科・科目を高度化します。理科及び数学の理解を深める専門教科「理数」を設置するなど、理数に関する学科ならではの教育を実践します。なお、2年生からは進路実現に向けて文系・理系のいずれかを選択して授業を受けることになります。

## 教科「創造」における学びの成果

- 薬剤耐性対策普及啓発活動 …… 文部科学大臣賞
- 関西電気化学会高校生チャレンジ …… 関西支部長賞
- 甲南大学リサーチフェスタ …… 審査員特別賞
- 全日本高校生模擬国連大会 …… 出場 (過去6回出場)
- 大阪大学国際公共政策コンファレンス …… 最優秀賞
- Glocal High School Meetings 2022 …… 日本語部門 金賞・審査員特別賞/英語部門 銀賞
- 数学・理科甲子園2021 …… 出場



薬剤耐性菌対策について  
WHOハイスクールミーティングで代表発表



HYOGO×WKCフォーラム2021での発表



数学・理科甲子園2021出場

## 国内外の研修旅行

(新型コロナウイルス感染症の影響をみて実施を検討)



最先端の医療用ロボットの操作体験

### KOBE研修

1年生の夏季休業中

神戸市内の最先端の研究機関、グローバル企業への訪問

#### 連携予定機関

神戸市医療産業都市機構、神戸アイセンター病院、理化学研究所計算科学研究センター、計算科学振興財団、株式会社ダイヘン



物質材料機構訪問

### 東京みらいフロンティアツアー

2年生の夏季休業中

国際機関や研究機関、グローバル企業、大学への訪問と研究発表

#### 連携予定機関

量子科学技術研究開発機構、物質・材料研究機構、アジア経済研究所、日本ASEANセンター、川崎重工業(株)、アジア開発銀行、国連UNHCR協会 等



仮想オフィス「RISA」体験

### DX研修

(デジタルトランスフォーメーション研修)

オンラインツールを活用し、イノベーションの創発過程を学習

#### 連携予定機関

神戸市、ビジネスブレークスルー大学、株式会社OPSION



ベトナム研修

### 海外研修

(ベトナム・イギリス)

オンラインを活用した交流事業や共同研究等を実施予定

#### 連携予定機関

フエ医科薬科大学、ベトナム科学技術アカデミー、ベトナム国家大学ハノイ校自然科学大学附属高校、在英国日本国大使館、JETRO LONDON、ベクスリーグラマースクール 等

あなたにはどんなゴールが待っている?

詳しい内容や写真が兵庫高校のHPのブログで見れるよ!チェックしてみよう!



創造科学科  
入学  
START!

1  
学年

●オリエンテーション

オリエンテーションでは先輩が創造科学科の取り組みについて説明してくれたり、ワークショップをしてくれるよ。

●未来創造シンポジウム

パネルディスカッションやポスター発表など内容盛りだくさん!さっそく、1年生も代表者がパネリストとして登壇するよ!!

創造基礎A・創造基礎B・理数探究が同時に開始!

●創造基礎A・B

どのような課題に向き合うのかを考える「テーマ設定」を行うよ。

●理数探究

研究データの分析に必要なデータサイエンスを学ぶよ。

●創造基礎A

「新聞ノート」が本格的にスタート。座学で社会科学分野の基礎知識を学びながら、新聞を読んで時事問題への理解を深めるぞ!

●創造基礎B

校外でのフィールドワークが始まるよ。ドキドキ…

●創造基礎B

地域における課題解決のための実践活動が始まるよ。9月の発表会でのアドバイスをもとに計画を練り直し、協力してくれる方々と打合せを繰り返そう。商品開発やイベント実施、広報活動など様々な取り組みを行うよ。とても大変だけど、得るものは大きいよ!(~3月)

●理数探究「神戸大学 実験実習」

神戸大学を訪問して、最先端の科学機器や研究施設を使って実験ができる!自然科学研究への興味や理解が深まるよ!!

●創造基礎B

実践活動と英語発表の準備、理数探究の研究が重なり、大忙し!

●創造基礎A

「外部講師による講義」がスタート。4月でテーマにあげた日本や世界の社会課題について、自分たちで事前学習に取り組み、講師の先生から講義を受けるだけでなく、積極的に議論する!財務省やWHO 神戸センターなど幅広い分野の知識が身に付くよ!(~2月)

●創造基礎B

「最終発表会」で夏休みの活動をもとに社会課題の解決のためのアイデアを発表するよ。行政や地域の方からアドバイスをもらい、実践活動に向けて準備していくよ。

●理数探究

大学院生との共同研究がスタート!院生の専門分野に合わせて自然科を研究分野や研究テーマを設定し、研究計画を立てるよ。毎年面白いテーマで研究が行われているよ!



1年8月STEAM特別講座



1年5月新聞シート

●理数探究

「探究基礎講座」や「探究基礎実験」で自分で研究を行っていきけるように実験技術、研究方法の基礎を学んでいくよ!

●創造基礎B

「テーマ報告会」で、班ごとに地域でどのような活動を行っていきけるかを発表するよ。初めての発表で緊張するけど、お互いに刺激し合って課題への理解を深めよう。

●創造基礎B

実践活動の内容を「外国人留学生との交流会」で英語で発表するよ。英語で交流できる楽しいイベント。地域の活動を国際的な視点で問い直すとてもいい機会になるよ。

●理数探究

冬休みも活用して研究を進めよう!

●理数探究

「交流発表会」では、取り組んでいる研究について他校の生徒とお互いに発表を行って、質問をぶつけ合うよ。研究に対する理解が深まること間違いなし!

●理数探究

「校内発表会」で研究内容をしっかりまとめて発表し、互いの研究を評価し合おう。「外国人留学生との交流会」で英語での研究発表にもチャレンジ!

●高校生鉄人化まつり

「高校生鉄人化まつり実行委員」の一員として、自分たちの鉄人化まつりを作り上げていこう!神戸市長田区の多くの部活動が参加し、実行委員による企画など内容も盛りだくさん。

2  
学年

2年生からは、自然科学と社会科学の2つの分野に分かれて「創造応用I」がスタート!

●オリエンテーション ●未来創造シンポジウム

新入生が創造科学科「理数探究」と「創造基礎B」の活動についての企画をつくり、連発表するよ。

●創造応用I(自然科学)

研究計画を立て、実験がはじめるように夏休みを活用して研究計画を練っていきこう。

●創造応用I(社会科学)

研究計画を立て、文献調査やフィールドワーク、研修に参加し、研究を深めよう。

●創造応用I(社会科学)

「テーマ発表会」で設定した課題を発表し、互いに意見を出し合い、本格的に研究がスタートしていくよ。大学の先生にもアドバイスをいただきながら進めるよ。

●創造応用I(自然科学)

5分野の中で自身が研究したい分野を選択。同じ希望のメンバーで班を作って研究テーマを決めていく。大学の先生にもアドバイスをいただきながら進めるよ。

●創造応用I(社会科学)

リサーチクエスト(社会科学)に対して、仮説を設定するよ。何をすれば課題が解決されるのか、先行事例をたくさん調べよう。

●創造応用I(社会科学)

自分の興味関心があるテーマについて、キーワードをあげて「リサーチクエスト」を設定していくよ。1年生の活動を深掘りしたり、SDGsに関するテーマにしたり、毎年テーマは多種多様!ワクワク。

●創造応用I(自然科学)

「探究応用講座」や「探究応用実験」で3か月かけて物理/化学/生物/数学/都市工学の5分野をローテーションで学んでいくよ。自分の研究したい分野を見つけてとらえよう!研究手法を身に付けよう。(~6月)

●東京未来フロンティアツアー

主に東京にある国際機関や企業、研究機関を訪問して、研究について目で見て、実際に体験しよう。東京で活躍している本校のOB/OGとの交流会もあるよ。

●創造応用I(自然科学)

「サイエンスフェア兵庫」に参加し研究発表を行うよ。ここには多くの高校の理系生徒が参加して発表を行うので、面白い研究発表をたくさん聞けるよ。発表を通して自分たちの研究に足りない部分を見つけよう!

●創造応用I(社会科学)

研究内容を英語でまとめよう。研究が進んでないと大ピンチに…

●創造応用I(自然科学)

「中間報告会」のアドバイスをもとに、研究のラストスパートに突入!

●創造応用I(社会科学)

「中間報告会」のアドバイスをもとに、研究のラストスパートに突入!

●創造応用I(自然科学)

「サイエンスフェア兵庫」に参加し研究発表を行うよ。ここには多くの高校の理系生徒が参加して発表を行うので、面白い研究発表をたくさん聞けるよ。発表を通して自分たちの研究に足りない部分を見つけよう!

●創造応用I(社会科学)

研究内容を英語でまとめよう。研究が進んでないと大ピンチに…

●創造応用I(自然科学)

「中間報告会」のアドバイスをもとに、研究のラストスパートに突入!

●創造応用I(社会科学)

「中間報告会」のアドバイスをもとに、研究のラストスパートに突入!

●創造応用I(自然科学)

「テーマ報告会」で研究内容を共有したら、いよいよ研究が本格的に開始!仮説を立て、実験を行い、結果が得られたら、しっかりと考察を行い改善していく。自然科学の研究を実践しよう!

●創造応用I(社会科学)

前半の取り組みと成果を「活動報告会」で発表。ここでしっかり発表できるように、夏休みにも時間を見つけて活動を行っていきこう!ポイント!大阪大学の大学院生によるサポートも始まるよ。

●創造応用I(自然科学)

実験や研究をどんどん進めよう。学校行事やテストで授業時間があまりないから、自分で時間を見つけよう!

●創造応用I(自然科学)

「中間報告会」で研究の進捗状況を報告するよ。コツコツと確実に研究を進めていかないと、報告ができずにピンチに…

●創造応用I(社会科学)

「中間報告会」で研究の進捗状況を報告するよ。周囲の研究の進み具合も確認して、自身の研究をより加速させて深めていこう!大学の先生の指摘にゼクリ。

●創造応用I(社会科学)

「中間報告会」で研究の進捗状況を報告するよ。周囲の研究の進み具合も確認して、自身の研究をより加速させて深めていこう!大学の先生の指摘にゼクリ。

●創造応用I(自然科学)

「中間報告会」で研究の進捗状況を報告するよ。コツコツと確実に研究を進めていかないと、報告ができずにピンチに…

●創造応用I(社会科学)

「中間報告会」で研究の進捗状況を報告するよ。コツコツと確実に研究を進めていかないと、報告ができずにピンチに…



2年8月東京未来フロンティアツアー



2年5月探究応用実験



2年11月中間報告会



3年7月探究活動ポスター発表会

GOAL!

それぞれの希望進路へ…そしてさらにその先へ…

創造科学科での取り組みはここで一度終了、それぞれの進路に向けてこれまで身に付けてきたものを活かしながら進路実現を目指していこう!

●探究活動ポスター発表会

普通科3年生の生徒と合同でポスター発表を行うよ。多くのポスター発表の中で、興味関心をもってもらえるかどうかは、ポスターの見やすさや発表次第!これまでの取り組みで身に付けたものを全力で発揮しよう!

●創造応用II

2年生で行った創造応用Iでの研究内容をまとめて研究ポスターを作成していくよ。学会ではポスター形式の発表も多いため、ポスターのまとめ方を実践的に学んでいこう!(~6月)

3  
学年

3年生からは、自然科学と社会科学に分かれて「創造応用II」がスタート!

●未来創造シンポジウム

いよいよ高校最後となる3回目の未来創造シンポジウム!企画も自分たちでするよ!! 2年生での創造応用Iの研究発表で1年間の成長を実感しよう!見せ場は3年生の司会に任せられ議論が進行するパネルディスカッション。

※海外研修は国内外の状況を踏まえ実施時期を決定

## 卒業生のことば



創造科学科4期生  
中島 笑衣瑠  
東京藝術大学 音楽学部  
音楽環境創造科 1回生

私は創造科学科4期生として2019年に入学しました。  
1年生の創造基礎Bでは、町内会の方々のご協力のもと、地域の子供と高齢者が交流するイベントを企画・開催しました。その活動を通して、事前打ち合わせの重要性を知ると同時に、入念に準備しても起こりうる当日のアクシデントに臨機応変に対応する力を身に付けました。  
2年生の創造応用では、「騒音と捉えられない音響式信号機の開発」というテーマで個人研究を行いました。誘導音として役割を果たすためには「聞こえやすい音」である必要がある一方、近隣住民の快適な生活を妨げてはいけません。このような両立の難しいテーマでしたが、適切な誘導音の条件を考察した上で実際に新誘導音案を作成しました。音響式信号機の騒音問題に対して、今まであまりなかった「音そのもの」という新たな側面からアプローチできたのではないかと思います。最終的には大学入試でもこの研究のプレゼンをすることができ、質

疑応答も高校時代に培った経験を活かして上手く乗り越えることができました。また、英語でのプレゼンや初めての論文作成など苦労することもありましたが、見やすいスライドを作る力やわかりやすい文章を書く力も伸ばすことができ、大学入学後も大いに役立っています。  
創造科学科では自分の熱意・努力次第で、国内や海外の研修に行けたり、他校の同じような活動をする人達と仲良くなれたり、大学をはじめとした大きな場での研究発表の機会を得られたりします。また、「文理の枠を越える」というのはよく言われる話ですが、スポーツや芸術など、さらに広い分野の研究をすることも不可能ではありません。ただ、創造科学科に入るだけでそれができるわけではありません。自発的に動いて、チャンスを最大限利用する。そうすれば、かけがえのない仲間、経験を得られ、それは必ずや人生の糧になります。あなたもここで、「未来の創造者」への第一歩を踏み出しませんか。



創造科学科4期生  
友成七海  
北海道大学 法学部  
法学科 1回生

私は創造科学科の生徒として高校生活を送りました。その中で様々な貴重な体験をさせていただきました。  
1年時には長田区の銭湯をPRする地域活動や光合成の触媒反応に関する自然科学研究、英語で世界の諸問題について議論する授業を通じて、「答えのない問題」を解決するためのアプローチの仕方を学びました。2年時には海外研修、発表会などを通じてベトナム人技能実習生に関する問題についての個人研究を進めました。また、海外研修を機に海外に興味を持ち、3年時には学校を休学し、アメリカに1年間留学しました。  
私が留学した当時のアメリカは新型コロナウイルス感染拡大の最盛期であり、それに加えBLM（黒人差別問題）、アメリカ大統領選でのトランプ氏落選などで社会的に少し特殊な状況でした。その中で最も学んだことは「自分の立場を明確にする」ことです。ホストファミリーが熱心なトランプ支持者であり、政治への関心も高い方々だったので、よく大

統領選挙についての話をしていました。当初、私は対立する2つの立場について中途半端な立場をとることが多かったのですが、そのような態度の人と議論しても意味がないというようなニュアンスのことを言われてしまいました。自分の考えの立場を明確化し、はっきりと他人に伝えるということの大切さを痛感しました。これは、大学生活を送っている今でも、グループディスカッションで活発な議論のきっかけとなるなど非常に役に立っています。  
創造科学科で学ぶことができる「答えのない問題」に対するアプローチ、多角的な視野で物事について考えることは大学でも大いに役に立ちます。また、創造科学科には自分の好奇心のままに研究を行える環境、研修旅行、留学などの充実した課外活動があり、切磋琢磨しあえる仲間たちがいます。ここで得た経験は今後の人生において間違いなく有益なものとなるでしょう！



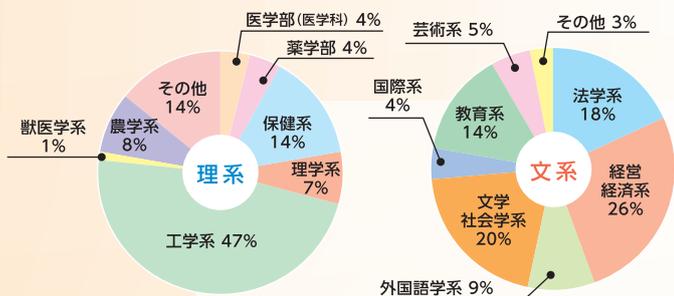
創造科学科4期生  
藤田 詩子  
神戸大学 国際人間科学部  
発達コミュニケーション学科 1回生

私は創造科学科4期生のメンバーとともに3年間貴重な時間を過ごしました。特に印象に残っている活動は創造基礎Bの活動です。私たちの班は長田の街活性化のため、名物料理の「ぼっかけ」を使った料理を考え、町のイベントに参加しました。企画から企業との交渉、プレゼンまで全て自分たちで行いました。企業の方に認めていただき、協力していただいた時はとても嬉しかったです。また、英語をもちいた活動も魅力的なものでした。学期の最後に留学生の方との発表・交流があるのですが、自分のつたない英語で通じた時の喜びはこれからの人生で大事にしたい感覚です。  
創造科学科で活動を進めるうちに間違いなく自分は変わったと感じます。主体的に動き、考えることは「楽しい」と思うようになりました。自分の

アイデアが採用されることは大きな喜びで、少しずつ課題をクリアしていくことは強い手ごたえで、一つ一つが成長だったのだと今になって感じます。  
大学生になって、活動が生きているなと感じることもあります。社会問題について考える授業も多いのですが、スムーズに自分の考えが浮かびますし、グループ課題においてもテーマの広げ方や研究の進め方が分かっているということが、今の私の強みだと感じます。  
今この文章を読んだあなたはラッキーだと思います。創造科学科では、ほかのどの高校生よりも貴重な経験が得られるからです。この創造科学科に入って特別な高校生になってみませんか？

## 卒業生の進路

### 文理別の進学学部



### 創造科学科1~4期生(155名)の主な進路

	理系(100名)	文系(55名)	合計
東京大学	1名	-	1名
京都大学	3名	3名	6名
大阪大学	13名	14名	27名
神戸大学	14名	7名	21名
北海道大学	3名	1名	4名
東北大学	1名	2名	3名
九州大学	1名	-	1名
その他国公立	30名	17名	47名
国公立大合計	66名	44名	110名
上記のうち国公立大医学部医学科	6名 (名古屋大学、神戸大学 など)		
海外大学・専門学校(合格校)	5校 (イギリス 4校・オーストラリア 1校)		

## 兵庫県立兵庫高等学校

兵庫高校

検索

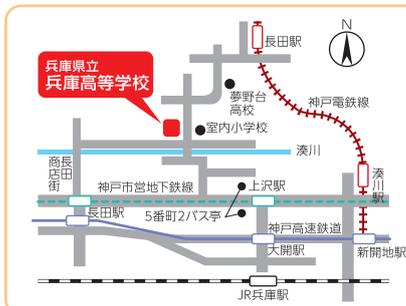


〒653-0804

兵庫県神戸市長田区寺池町1丁目4番1号

TEL.078-691-1135 FAX.078-691-1136

https://dmzcms.hyogo-c.ed.jp/hyogo-hs/NC3/



### ACCESS

最寄り駅

- 神戸市営地下鉄「上沢」[長田]より徒歩約8分
- 神戸高速鉄道「高速長田」より徒歩約10分
- 神戸電鉄「長田」より徒歩約15分
- JR「兵庫」より徒歩約20分

神戸市外より

- 阪神「西宮」、阪急「西宮北口」より約40分
- JR「加古川」、山陽電鉄「高砂」より約50分
- 神戸電鉄「三田」より約65分
- 淡路交通「淡路1C」より約50分